

# 子どもが期待して登校し、満足して下校する学校づくりを目指して

校長 樋口 則之

私も本校3年目を迎えました。これまで子どもを「昨日よりも今日、去年より今年 一歩高める」を教職員の合い言葉にして、学校経営に取り組んできました。

本年度は、教育の原点に立ち返り、子どもが、「わかった、できるようになった、友達と一緒にできた楽しい」といった満足感を味わうことができる学校づくりを目指したいと思いました。私たち27名の教職員で、236名の子どもたち一人一人を複眼で見ながら大切に育てて参ります。

それでは、本年度の学校経営の構想については以下のとおりです。

## ◇ はじめに

目標や課題、取組を共有し、自分の役割と責任を果たす者が組織となり、教育を一歩高めようとする学校を目指す！

### 1 学校経営の基盤

- (1) 子どもを伸ばすこと（成長）に情熱と使命感をもつこと  
・日頃から、多面的な視点（複数の教師の目で見ること含む）で子どもを見る。
- (2) 教育を一歩高めようとする学校づくり

**<目指す教師像>** 基本姿勢：鍛えて、ほめて、伸ばす  
・使命感と責任、豊かな人間性をもち、教育に強い情熱をもった教師  
・目指す子どもの姿に向かい、子どもの可能性を見抜き伸ばす教師  
・常に、学ぶ心をもち、主体的に研修に励み、専門性や指導力を高める教師  
・組織人としての自覚、責任感、協調性をもち、教職員、保護者、地域住民と連携する教師

**<目指す学校像>** 基本姿勢：行きたい、行かせたい、行ってみたい魅力ある学校  
・子どもが安心して、安全に過ごすことができる学校  
・子どもが期待して登校し、満足して下校できる学校  
・規律があり、子どもの思いや願いが活かされ、力を精一杯発揮できる学校  
・教職員が共通の目標に向かい、計画的・継続的・組織的に活動している学校  
・家庭や地域社会の願いに応え、信頼関係で結ばれている学校

### 2 平成31年度の学校経営の構想 ※学校経営ビジョン参照

#### (1) 学校の教育目標

**<学校の教育目標>**  
ふるさと吉井に誇りをもち、志をもって学び続ける子どもの育成

<心…豊かな心> 人・もの・命を大切に子ども  
<学び…確かな学力> できるまで学び続ける子ども  
<体…健やかな体> 体を鍛え健康を続ける子ども

※ 学級で目指す姿を明確化すること ※ 知・徳・体をバランスよく育てたい。

#### (2) 本年度の重点目標 ・「鍛えて・ほめて・伸ばす」教育 ・凡事徹底（当たり前を続ける）

**[教育課題…子どもに育てたい資質・能力・態度]**  
・学ぶ意欲・思考力・判断力・表現力の育成…学年格差・学級内での格差  
・基礎・基本の確実な習得…学年格差・学級内での格差  
・基本的な学習・生活習慣の定着と人間関係の構築  
・心身の忍耐力の育成

<心> みんなでルールやマナーを守る子ども  
<学び> 考えをつくり高め合う子ども  
<体> めあてに向かって体をきたえる子ども

※各学年や学級まで具体化して、めざす子どもの姿と評価指標を明確にすること

(3) 指導の重点

① 思考力・判断力・表現力・基礎的な知識・技能などの育成

- ア 自分の考えを書く・説明する・学び合う言語活動の積み上げ      イ 音読、読書活動の奨励  
ウ 漢字・音読・ノート検定実施      エ 計画的な補充・発展学習実施

② 規範意識の向上、望ましい人間関係の構築

- ア 特別の教科道徳の指導方法の工夫と確実な実施      イ 様々な縦割り班活動  
ウ 日常的な友達のよさ見つけ      エ 児童の主体的なあいさつ運動

③ 体力・忍耐力の向上

- ア 大縄跳びを年間通じて継続      イ 水泳・持久走特別練習  
ウ 体力アップシートの活用      エ 長距離歩行や野外炊飯など困難克服体験

(4) 本年度の経営課題と経営の重点

- 【経営課題…教職員、組織、家庭・地域に関する課題】
- 学校の教育目標や重点目標を具現化する学級経営
  - 危機対応と校内情報の共有
  - △児童の実態に応じた教育課程の実施
  - △P J組織における確実な取組と評価・改善サイクル実施
  - △校内研修の確実な推進と日常化

【経営の重点】

- ◇教育課程の編成・実施・評価
- ◇経営ビジョンの共有と組織運営
- ◇人材育成
- ◇経営資源の効果的活用

(5) 教育活動の工夫改善について

「めあて—考えをつくる（書く・説明する）—学び合い高める」を位置づけた主体的な学び

① 学びづくり（確かな学力の育成）について

- ア 基礎・基本の習得、学ぶ意欲や自己肯定感、思考力・判断力・表現力を高める授業づくり  
イ 「吉井小学校のめあて」「学級教育目標」の唱和、音読の日常化  
ウ 家庭学習の習慣化 ※家庭学習の意義を再確認と習慣づくり

② 心づくり（豊かな心の育成）について

- ア 特別の教科道徳の確実な実施      イ 学級活動（1）（2）（3）での話し合い活動の積み上げ  
イ 人権・同和教育推進計画、特別支援教育推進計画に基づいた実践の改善と評価  
ウ 学校での生活習慣・学習ルールの徹底 ※あいさつ・掃除・言葉遣い  
エ いじめ早期発見・早期対応、不登校の子どもを生まない取組 ※組織的な対応

③ 体（健やかな体育成）づくりについて

- ア 目標を意識させた体力向上の取組（運動）の継続・大縄跳びと外遊び  
イ 食育や安全教育の推進      ウ 心身ともに鍛える困難克服体験

(6) 組織的・協働的なプロジェクト部会の運営の充実 ※チームワークとカバーリング

プロジェクト組織が目標設定、解決方法を提案、実施状況・成果の把握、改善策のリードを

- ① 学び・心・体プロジェクトの各種プランを共通実践できるような全教職員への働きかけ
  - ② 学級、学年、近接学年経営の充実 ※特に、1年、4年、6年 特別支援学級への対応
  - ④ 学級の問題を学校の問題として解決する組織が機能するシステムづくり
  - ⑤ 児童に事故があった場合の「迅速・確実・誠実」な対応 ※対応マニュアルに沿った実践
- ※内容の充実・共有化を図るコンパクトな話し合い（時間の意識、役割分担の明確化）

(7) 教師力を磨く研修の充実

吉井スタイル（スタンダード）の「考えを書く・説明する・学び合う」授業づくりの確立

- ① 日常の授業改善を目指し、学期ごとに高まりをイメージした授業計画づくり
- ※キャリアステージに応じた研究授業の実施

◇ おわりに

子どもが期待して登校し、満足して下校できる学校をみんなで作ろう！